



2015 **11** 年間購読料  
NO.477 6,000円 (税・送料込)

発行所 株式会社たたぶらす  
編集・発行人 石坂泰造  
〒101-0045 東京都千代田区鍛冶町3-7 蔵下ビル3F  
TEL.03-6206-9212 FAX.03-5256-0041  
email mild2@est-j.net HP http://est-j.net

エステティックのバイオニア  
**滝川株式会社**  
www.takigawa.co.jp

**Main Contents**

- 年末に向かって不穏な動き 改革しないとつぶれるサロンが続出・・・1～2面
- 「ミューゼプラチナム」の運営は別会社に・・・2面
- 連載・エステティック リフレーミング塾・・・3面
- 活水装置「新ん泉」、水道水をすべて活性水に・・・4面
- 連載・「鍼灸師 SHOKO治療院」・・・6面
- 連載・草野由美子のお役立コラム・・・7面
- エステシモから「SONOWA」・・・9面
- 「Face&Body KOKOYULA」がオープン・・・9面
- ミスパリが銀座に13階本社ビル・・・11面
- 西坂才子さんが健康番組に出演・・・11面
- 「美肌ガラス アンバサダー」・・・13面
- 連載・平垣美栄子の「植物療法」・・・14面

本気になって改革しないとつぶれるサロンが続出する！

年末に向かって不穏な動きをみせるエステティック業界

体力があるうちに生き残り出来るサロンに転身を！

すでに時代が大きく変わっている事を自覚することが大切

夏過ぎあたりから閉鎖されるエステティックサロンが全国的に増えている。また、売上げを落としているサロンも続出しており、このままいったら年末まで持たないサロンが

さらに増えていくのではないかと心配されている。

「お得意先のサロンがまたつぶれた。売りが掛けが少なかつたので大した影響はないが、

こうたて続けにサロンにつぶられては本当に先行きが心配になる」と語るエステティックディライナー社長の言葉には切実な響きがある。

全国の提携ホテル内でエステサロン展開していた 横浜本社の「スカイゲイト(株)」が破産手続きに！

横浜を本社にして、全国の提携ホテル内で「ホテル客室改装型エステティックサロン」を展開していたスカイゲイト株式会社(戸花 充代表)が、経営不振に陥り、九月四日、横浜地裁から民事再生手続き廃止決定を受け、十月一日に破産手続き決定を受けた。負債は約二十二億円とみられる。

スカイゲイトといえば、世界的に有名なリゾート各地の店名「ザ・シーズンズ」「ルナカーザ」「コンテッサ」でホテルラウングウッド、ホテル金沢、銀座グランドホテル、東急イン、チサンホテルなど全国に約四〇店舗を展開。そのほかにも、フィットネスジムなどを経営していた。

スカイゲイトが展開していたエステティックは、全国のホテルと提携し、客室を改装してサロンをつくり、ホテルのお客様をはじめ、近隣のお客様を集客するシステムで、独自の経営手法で拡大していった。ホテルでのエステティックサロンは立地が良く、信頼度も高いのでお客様の安心感につながっていたは

ずなのだが急に経営不振が表面化した。

二〇一四年五期には、十三億八〇〇〇万円の売上げを計上していたそうだが、新規サロンをオープンする一方で不採算店舗も多く、資金繰りが苦しい上に金融機関やリース債権などが膨らみ、取引先への支払いが遅れていたという。

エステ商材を納入していた業者の話によると、スカイゲイトは、機材その他をすべてリースにし、その代金を上乗せさせてマージンを別に要求するような取引が多かつたという。

破産手続きが進められている中、エステティックサロンの運営は、株式会社リベレーザという会社に事業譲渡され、二十数店舗のサロンは同じサロン名で営業が継続されるといふ。ホテルとの交渉や条件が整わず、事業譲渡とならなかつた十数店舗は閉鎖が決まり、また交渉中の店舗も五つぐらいあるようだ。リベレーザは、スカイゲイトの債務は負わず、サロン運営だけを継続する。

既存のお客様は、営業が継続されたサロン【2面に続く】

7種の野菜の力を集結 “野菜マスク”

日常生活で蓄積されたお肌の疲労やストレスに、癒しと生気を与え、生き生きした、つややかな肌へ導くゲルベースのマスク。

7種の野菜エキス(にんじん、椎茸、ゴボウ、トマト、しそ、もやし、キュウリ)の豊富な栄養成分が、元気で美しい肌へと導く。



その他、お肌のトラブルに合わせて全5種類の水溶性天然ゲルパックをご用意しています  
ノンオイル・無着色・無香料



**POLICY**  
ポリシー化粧品